

**スリーエム ジャパン、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ
「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」へ加盟**

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：昆 政彦）は、10月23日、全世界において2050年までに温室効果ガス排出量ゼロとする目標を支持し、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループである「日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)」に加盟したことを報告します。

3Mは、多彩な科学技術でさまざまな社会課題の解決に貢献し、社会や人びとの暮らしをより豊かなものにするために成長を続けるサイエンスカンパニーです。戦略的サステナビリティフレームワークとして「サイエンスで循環型経済に貢献」「サイエンスで気候変動の課題を解決」「サイエンスでコミュニティに貢献」を提唱し、サステナビリティ活動に世界中で積極的に取り組んでいます。スリーエム ジャパンはJCLP が掲げる気候危機の回避に向けた積極的な活動を通じ、産業界が一丸となって貢献していくことに賛同しています。日本に根付く企業グループの一員として、世界に向けた取り組みの一躍を担うことで、気候変動および他の日本の課題における共通理解を一層深め、対策をしていくことを切に望んでいます。

スリーエム ジャパンの代表取締役社長である昆 政彦は次のように述べています。
「このたび、JCLP へ加盟できたことを非常に嬉しく、意義深いものと思っております。JCLP が目指す目標は、3Mが従来から掲げているサイエンスとイノベーションを活かして、世界の人びとの暮らしをより良くするという企業ビジョンに合致しており、環境、社会、経済のさらなる調和を目指し、サステナビリティ経営で継続可能な発展へ貢献してまいりたいと存じます」

スリーエム ジャパンは JCLP への加盟により、パリ協定と整合する脱炭素化社会の実現を後押しする意思と行動を社会に示し、自社の脱炭素化の実践を通じて、国際的および地域の持続可能な発展に寄与して参ります。

3Mは3M社の商標です。
プレスリリースに掲載している内容は発表時点の情報です。
最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) について】

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009年に日本独自の企業グループとして設立。幅広い業界から日本を代表する企業を含む143社が加盟（2020年7月現在）。加盟企業の売上合計は約117.8兆円、総電力消費量は約48.2Twh（海外を含む参考値・概算値）。脱炭素社会の実現に向け、横浜市との包括連携協定の締結や、国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務めるなど、自治体や海外機関との連携も進める。<http://www.japan-clp.jp/>

【3Mについて】

3M（本社：米国ミネソタ州）は、Science（サイエンス）を活かし毎日の暮らしをより豊かにすることを目指しています。売上高は321億ドルで、9万6,000人の社員が世界中のお客様の課題解決にむけて、創造的なソリューションを提供しています。3Mに関する詳しい情報は、www.3M.com/ @3M/ @3MNewsroom (Twitter)をご覧ください。また、3Mジャパングループについては www.mmm.co.jp をご覧ください。